

「平成30年度やまぐちユニバーサルデザイン大賞」

【活動部門（優秀賞）】

活 動 名	下関バリアフリー観光情報収集・発信
団 体 名	
代 表 者 名	森井 広毅
活動開始時期	平成29年3月
活 動 内 容	下関市内の観光施設のバリアフリー情報をホームページに掲載

活動(取組)名	下関バリアフリー観光 (https://simonoseki-kanko.info/) 情報収集・発信
開始時期	昭和・平成 29年 3月 ~
<p>活動(取組)内容及び成果 (※できるだけ具体的に記載してください。)</p> <p>山口県下関市(関門地域)を中心とした観光地に運営者が実際に赴き、バリアフリー情報(段差、幅、長さ、傾斜)などを直接調査しています。調査結果はインターネット(サイト)上にて公表をしています。</p> <p>バリアフリー観光の潜在的対象者は、障がい者・高齢者・介助者などを含めると広範囲に及びます。しかし、現状は観光(旅行)そのものを諦めてしまっている方が多いと考えられます。その為、バリアフリー観光情報への表在的な関心(サイトへのアクセス数)は少ない状況となっていました。</p> <p>そこで、サイト(情報)への導入手段として、健康に不安がある方向けのリハビリ情報、観光地のイベント情報などをサイト内に設置(ブログ更新)しました。また各ブログはSEO(検索サイトにて上位表示される為の方法)対策を実施し、より多くの人を訪れるように工夫しました。更に各ブログからバリアフリー観光情報への導線(リンク設定)を確立することで、潜在的利用者の掘り起こしにつながる方法も確立しました。</p> <p>ユニバーサルデザインの観点から工夫している点</p> <p>「障がい者や高齢者の数だけバリアがある」といわれるように、バリアフリー情報には、より多角的な視点が求められます。運営者は医療機関や介護保険施設にて、様々な疾患や障がい像と向き合ってきた経験を有しています。リハビリテーション専門職種である作業療法士としての経験や視点をもとに、情報収集・発信を行っています。</p>	